

# SECURITY TREND NEWS

Vol.06  
2026

## Hot Topics 2026 Jun.

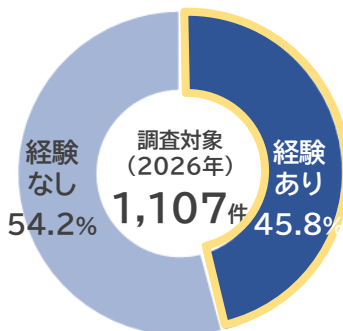
- ランサムウェア被害と身代金支払いの実態（2026年版）
- 「国民健康保険料」を装う 最新フィッシング詐欺の手口
- なぜ、20～30代は特殊詐欺の被害に遭いやすいのか
- 正規IDが狙われる時代 — 求められるID管理 —

# ランサムウェア被害と身代金支払いの実態 (2026年版)

JIPDEC(一般財団法人日本情報経済社会推進協会)の最新調査では、ランサムウェアの身代金を「支払わない」企業が着実に増えています。しかしその一方で、復旧できないケースも増加しています。

## ランサムウェア感染経験

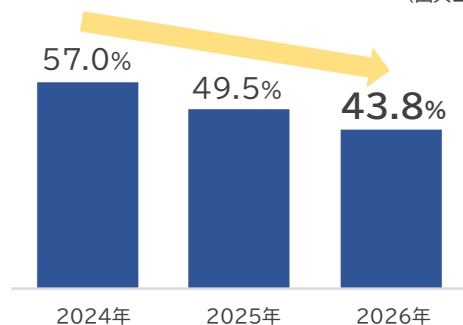
(出典1)



「感染経験」割合は **45.8%**

## 身代金の支払い率

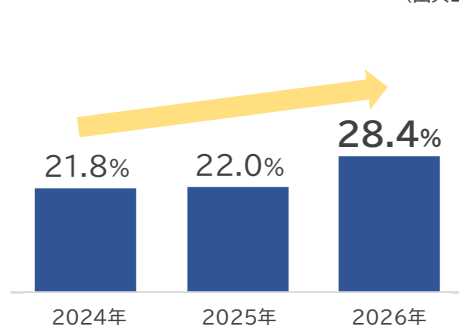
(出典2)



身代金の支払い率は **3年連続で低下**

## 復旧できなかった割合

(出典2)



身代金を支払わず復旧できない割合は **3年連続で上昇**

身代金は「最終手段」ではなく「高リスクな賭け」に。

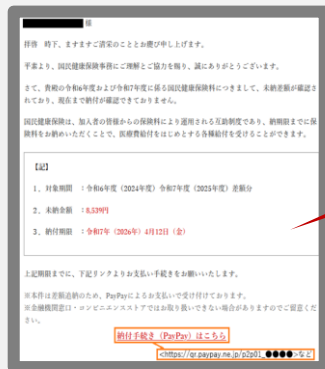
備えるべきは、IT-BCP＝感染を前提とした復旧設計です。

(出典1)JIPDEC「企業IT利活用動向調査2024～2026」(出典2)JIPDEC「企業IT利活用動向調査2024～2026」図26を元に、キヤノンマーケティングジャパンで作成

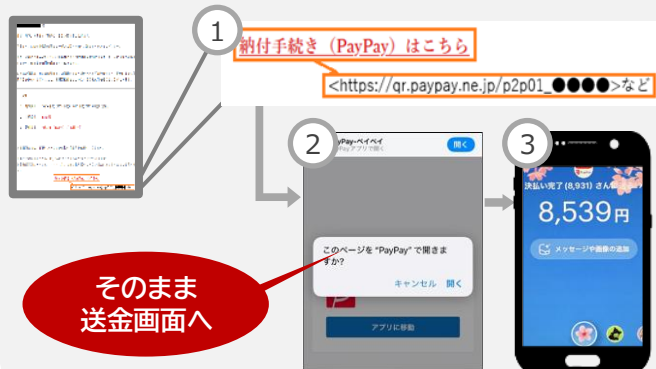
# 「国民健康保険料」を装う最新フィッシング詐欺の手口

「国民健康保険料の未納」や「差額支払い」を装い、PayPay送金へ誘導するフィッシング詐欺が確認されています。

## 緊急性をあおるメール



## PayPay送金へ誘導



- 自治体がPayPay送金を直接求めることは、原則ありません
- 「未納」「至急」「今日中」など、緊急性を強調する表現には注意が必要です
- 経理・役員のスマホに決済アプリがあると、端末を介して会社側のリスクになり得ます

## なぜ、20～30代は特殊詐欺の被害に遭いやすいのか

特殊詐欺やSNS詐欺の手口は、年々かたちを変えて巧妙化しています。とくに近年は、20～30代が被害に遭いやすい構造へと変化しています。

### 「気づく人は気づけた」時代

- 不自然な日本語のメール
- 明らかに怪しいURL

### 「見分けが付きにくくなった」時代

- 宅配・電力・カード会社を装う手口
- SMS型、精巧なコピー画面が主流に

2022年

2023年

2024年

2025年

2026年

### 「誰もが当事者になり得る」時代

- 公共制度・国民生活に関わる案内を装う手口が増加
- 年齢や職業を問わず、対象が一気に広がっている

特殊詐欺被害額は  
約1,414億円と  
過去最悪

(出典1)

### なぜ若い世代の被害が増えている？

#### 犯行ツールの変化



#### 二セ警察を装う



あなたの口座が  
犯罪に使われて  
います

二セ警察詐欺の年代別認知件数は

1位

30代

2,221件

(出典2)

2位

20代

1,686件

(出典2)

(出典1・2)警察庁「令和7年における特殊詐欺及びSNS型投資・ロマンス詐欺の認知・検挙状況等について(暫定値)」

## 正規IDが狙われる時代

不動産業界向けクラウドサービス「いえらぶCLOUD」で、2026年4月に不正アクセスが発生しました。この事例は、正規IDを起点とした侵入を象徴しています。

### 攻撃者が正規IDでログイン



アカウント管理の際を突く

### 通常利用に見える形で侵入



不正に気づきにくい

### データの不正取得



被害が広範囲に拡大

(出典)いえらぶGROUP公表資料

- 正規IDが悪用されると、不正に気づきにくくなります
- 1つのID侵害が、複数の業務サービス・顧客情報に影響します
- 「誰が・どの端末で・どのサービスにアクセスしているか」を管理することが重要です

# セキュリティ対策評価制度に際して 必要な対応を分かり易く解説

～取引先から選ばれる企業のための技術的対策とは～

参加無料  
事前登録制

日時

2026年  
**7月27日(月)**  
14:00-15:00

- 定員:300名
- 対象:経営層・ご担当者様
- 申込開始:6月5日(金)
- 申込締切:7月22日(水)

■インターネット環境があれば自席で受講いただけます

## セミナー概要

セキュリティ対策評価制度の開始に伴い、「どのレベルを目指せばよいのか分からない」「どのように進めればよいか見えていない」といった声が多く寄せられています。本セミナーでは、本制度の目的や位置づけといった概要を整理したうえで、特にお問い合わせの多い「★3」「★4」の違いについて解説します。あわせて、企業に求められる具体的な対応内容をわかりやすく解説します。

## 講師

キャノンマーケティングジャパン株式会社  
ソリューション事業推進本部

村佐 忠則(むらさ ただのり)

## 「セキュリティ対策評価制度」の詳細

<https://canon.jp/biz/trend/securityaction>



## ■セミナー申込サイト

キャノンMJ セミナー 検索



WEBサイト:<https://canon.jp/biz/event>

※お申込みの際に

【会社コード】の入力が必要です。

【会社コード】 G03867

## ■セミナー紹介動画

セミナーの概要を3分でご紹介しています!

